

第 3 学年

総合的な学習の時間

しぜんとともにくらそう(1) (単元計画/全 60 時間)

平成 28 年 9 月 14 日(水) 第5校時
杉並区立西田小学校 第 3 学年 4 組 27 名
授業者/ 望月 惇平

昆虫の多様性に対する理解

学習活動①: モンシロチョウと育ち方を比べたい昆虫を決め、育ち方を調べる計画を立てる。(1時間)㉞

学習活動②: すぎなみ環境ネットワークの方にトンボのくらしや生態について聞く。(1時間)㉞

- ・プールにはヤゴが住んでいて、毎年排水とともに流されていることを知る。

学習活動③: ヤゴ救出大作戦に取り組む。(2時間)㉞

留意点

- ◆ すぎなみ環境ネットワークの方の話を参考に、学習の進め方や計画の立て方を理解し、学習活動④につなげる。

学習活動④: ヤゴ救出大作戦を通して、感じたことを交流する。(1時間)㉞

- ・860 匹のヤゴが救出できた。
- ・アカネ系が多く、ヤンマ系が少なかった。
- ・水草を入れたほうが、ヤンマ系がもっと来ると思います。

学習活動⑤: 自分が選んだ昆虫の育ち方について調べる。(7時間)㉞

留意点

- ◆ プール内の環境を、ヤゴにとって「よい環境」と「こまった環境」の両面から捉えることで、学習活動⑦につなげる。
- ◆ 随時、計画を立て直し、図鑑やタブレット PC を使いながら、学習を進めていくよう指導する。

学習活動⑥: 調べた昆虫の育ち方についてカードに書き、模造紙にまとめる。(2時間)㉞



ホテルのたまごは地上にあるけど、幼虫になったら水の中に潜るんだよ!

留意点

- ◆ 色画用紙を用いて、たまごから成虫になるまでのすみかを区別し、昆虫によって育つ環境が多様であることに気付かせる。(緑:地上 水色:水中 茶色:地中)

学習活動⑦: 調べた昆虫の育ち方を発表し合い、共有する。(2時間)㉞



バッタは卵、幼虫、成虫の順番に育っていきます。バッタは草があるところにいて...

留意点

- ◆ 昆虫によって、育ち方が違うことに気付くと共に、育つ環境(場所、季節など)にも違いがあることに気付かせる。

<発表の観点>・育ち方 ・すみか ・季節 など

学びに火をつける

理科(動物のすみかをしらべよう): 昆虫などの動物は、それぞれどのような場所にいて、何をしているのか調べる。

- ・昆虫などの動物は、食べ物のある場所や、隠れる事が出来る場所に多くいることに気付く。

学習活動⑧: 西田の環境が昆虫にとって住みよい環境か考える。(1時間)㉞

学習活動⑨: ヤンマお誘いセットを作り、プールに浮かべる。(2時間)㉞

留意点

- ◆ 学習活動④で学んだことをもとに、ヤンマお誘いセット作りに取り組む。



調べる

学習活動⑩: 自分が呼びたい昆虫にとって、住みよい環境を考える。(3時間)㉞ **本時**

学習活動⑪: 校内の樹木や環境を調べる。(1時間)㉞

学習活動⑫: 昆虫にとってよりよい環境を作るための計画を立てる。(8時間)㉞



留意点

- ◆ すぎなみ環境ネットワークの方と共に、校内樹木調べを行い、呼びたい昆虫の生息環境があるか調べる。

まとめる

学習活動⑬: 環境を整備し、環境を持続させるための計画を立てる。(4時間)㉞

- ・校庭にある池の周りに、植物を植えたプランターを置き、アメンボのすみかとなる環境を整えました。



- ・カブトムシやクワガタ、コオロギは、やわらかい土をすみかとするので、裏庭の土を耕しました。



留意点

伝え合う

国語(つたえよう、楽しい学校生活): 伝えたい目的と内容を明確にして発表メモを作り、発表する。(15時間)

学習活動⑭: 2年生に向けて、自分たちが調べてきたことを明確にし、分かりやすい言葉遣いで発表メモを作り、練習する。㉞

学習活動⑮: ESD子供報告会で活動内容を報告する。㉞

- ・自分たちが調べてきたこと
- ・来年度にお願いしたいこと
- ・ヤゴ救出活動の継続
- ・3年生の整備した環境の確認

留意点

校内の環境整備

